

第3回 若手プロジェクトリーダー研修 10期生プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・ プロジェクトを客観的に捉え、成果を評価し、今後に向けた改善点を提案できる

【本研修】

- ・ フィールド実習を振り返り、その後の自身やプロジェクトの変化を評価する
- ・ プロジェクトの自走化に必要なことを整理する
- ・ 10期生の交流を深め、これからも相互研鑽し・協力しあえる関係をつくる

研修内容	研修のねらい
・フィールド実習を振り返り、協働、協力のポイントを復習する(講義、質疑応答)	・協力の技術を磨き、協働プロジェクトを継続・発展させられるようになる
・自身の助成プロジェクトを客観的に捉え、助成終了後の自走化に必要な取り組みを考える(個人ワーク、発表、相互フィードバック)	・協働事業を評価し、改善を重ねる方法を身につける
・自身が目指すリーダー像を考える(個人ワーク、発表、相互フィードバック)	・リーダーシップを積極的に発揮できるようになる

期待する効果

【本研修】

- ・ 広い視野で、互いの価値観を尊重しあいながら協力関係を築き技術を磨き、効果の高いプロジェクトを実行できるようになる
- ・ 自身が目指すリーダー像を具体的に描き、自分なりのリーダーシップを積極的に発揮できるようになる
- ・ 助成終了後のプロジェクトの継続・発展に貢献する

研修スケジュール

1/27(火)【1日目】		
10:00～10:05	研修 2 日間の説明	地球環境基金
10:05～10:55	チェックイン 近況報告・助成事業の進捗など ① 研修生 5 分×8 人 ② 講師／スタッフ	池本 桂子氏
10:55～11:25	講義 「フィールド実習ふりかえり～協働のポイント」	
11:25～11:45	個人ワーク 「アクションプランのその後」	
11:45～13:00	昼食	
13:00～14:00	発表・相互フィードバック(前半) 15 分×4 人 「アクションプランのその後」	池本 桂子氏
14:00～15:10	発表・相互フィードバック(後半) 15 分×4 人 「アクションプランのその後」	池本 桂子氏
15:10～15:40	2 日目の説明 「プロジェクトの自走化とメンバーのリーダーシップ」	池本 桂子氏
15:40～16:30	チェックアウト 今日の感想、みんなへお願いなど ① 研修生 5 分×8 人 ② 講師／スタッフ	
16:30～16:35	事務連絡	地球環境基金
17:00～17:30	10期生・11期生交流会(第一会議室) ※テーマは設けずに自由に相互交流	地球環境基金
17:30	終了	

1/28(水)【2日目】		
10:00～10:05	スケジュール確認	地球環境基金
10:05～10:35	個人ワーク 「プロジェクトの自走化とメンバーのリーダーシップ」	池本 桂子氏
10:35～11:35	発表・相互フィードバック(前半) 15 分×4 人 「プロジェクトの自走化とメンバーのリーダーシップ」	
11:35～12:50	昼食	
12:50～13:50	発表・相互フィードバック(後半) 15 分×4 人 「プロジェクトの自走化とメンバーのリーダーシップ」	池本 桂子氏

13:50～14:20	個人ワーク 修了式の発表資料 完成作業 「3年間の研修で学んだこと、考えたこと」	池本 桂子氏
14:20～14:30	2日間の感想共有	
14:30～14:40	事務連絡	地球環境基金
14:40～15:00	研修生 休憩・移動	
15:00～16:00	10期生修了式	地球環境基金
16:00	終了	

10期生研修 メンター

池本 桂子 氏 / (特非)協力アカデミー 理事

1998年、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に入職。会員対応やイベント運営を担当しながら、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会の活動にも参加。環境NPOの立場で、他分野の団体と協力し、NPO法や寄付税制など市民活動全般の基盤強化・法制度づくりに関わった。

2010年からはシーズ本体に入職し、政策提言活動のバックオフィスを担当。2023年にNPO法人協力アカデミーを立ち上げ、とりわけ中小規模NPOの事業開発、協働・協創プラットフォームづくりをサポート。「協力のテクノロジー」の普及に努めている。



第3回 若手プロジェクトリーダー研修 11期生プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・事業やプロジェクトの目標達成に向けた適切な戦略を策定できる
- ・事業・プロジェクト推進上の課題を特定し、適切なアクションを検討できる

【本研修】

テーマ：NPO マネジメントの実践～ファンドレイジング、評価、報告書の作成

- ・NPO マネジメントの実践における、事業や活動、プロジェクトの目標や取り組みテーマに向けたPDCAサイクルを理解し実践できるようになる。
- ・評価の基本的な考え方と方法を理解し、目標と指標設定を活用したPDCAサイクル、(効果的な)振り返り、成果と課題、学びと教訓の抽出など、プログラム評価のポイントをマネジメントに活用できるようになる。
- ・ファンドレイジング(ボランティアコーディネーションを含む)と外部コミュニケーションの考え方と手法を理解し、実践に活用できるようになる。
- ・報告書やインパクトレポート(成果の発信)などの活用方法についてポイントと他団体の事例を学び、自団体の取組みに活用できるようになる。
- ・参加者間の共有と学び合いから、相互のエンパワメントにつなげ、実践内容をブラッシュアップする。

期待する効果

- ・第2回研修で取り上げた「目標設定とその達成に向けた指標設定とPDCAサイクル」を踏まえ、第3回研修では、この間の参加者それぞれの実践を振り返り、評価の考え方とその実践の復習を行って、その定着につなげる。
- ・評価の基本的な考え方と方法を理解し実践につなげることで、効果的な目標・指標設定ができるようになり、進捗把握や振り返り(成果と課題、学びと教訓の抽出など)、改善や創意工夫、アクションが効果的にできるようになる。
- ・ファンドレイジングと外部コミュニケーションのポイントを理解し、実践に活用できるようになる。ボランティア参加もファンドレイジングの重要な一つの形態として扱い、ボランティアコーディネーションについても学び、実践に活かせるようになる。
- ・報告書やインパクトレポート(成果の発信)などの活用方法についてポイントと他団体の事例を学び、自団体の取組みに活用できるようになる。
- ・参加者相互の実践の進捗状況の共有や他者からの「学び・気づき」、相互の学び合いからモチベーションの向上と自身の実践に活用できるヒントを得ることができる。

研修スケジュール

1/27(火)[1日目]		
10:00～10:05	開会・事務連絡	地球環境基金
10:05～10:20	研修の目的とゴール、流れの説明	河合 将生氏
10:20～10:40	チェックイン: 中間共有後の状況、本研修に期待すること	
10:40～12:00	講義「NPO マネジメントと評価」とミニワーク、ディスカッション	
12:00～13:00	昼食	
13:00～14:30	講義「ファンドレイジング(実践)」とミニワーク、ディスカッション	河合氏
14:30～16:00	講義「報告書の作成と活用」とミニワーク、ディスカッション	
16:00～16:30	全体を通しての質疑応答・意見交換	
16:30～16:45	チェックアウト:本日の研修内容の振り返り	
16:45～16:50	事務連絡	地球環境基金
16:50～17:00	研修生 休憩・移動	
17:00～17:30	10・11 期生交流会 ※テーマは設けずに自由に相互交流	地球環境基金
17:30	終了	

1/28(水)[2日目]		
9:30～9:35	開始・事務連絡	地球環境基金
9:35～10:30	1 日目の講義内容のフォローアップ	河合氏
10:30～12:00	個人ワークと相互フィードバック、質疑応答、個別相談、ディスカッション	
12:00～13:00	昼食	
13:00～14:00	個人ワーク、発表と相互フィードバック、個別相談(続き)	河合氏
14:00～14:25	チェックアウト:2 日間の振り返り、今後に向けて一言	
14:25～14:30	事務連絡	地球環境基金
14:30～15:00	研修生 休憩・移動	
15:00～16:00	10 期生修了式	地球環境基金
16:00	終了	

11 期生研修 メンター

河合 将生 氏 / NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表

2011年7月、office musubime（オフィス ムスビメ）を設立。伴走支援を専門としながらNPOの組織基盤強化、組織診断・評価、ファンドレイジング支援、プロジェクト運営・協働コーディネート・ファシリテート等の役割を担う。

NPOの伴走支援は、助成金等を活用した外部／第三者のコンサルタントとしての関わりから、団体の個別支援、外部理事や監事、アドバイザーとしての関わりもあり、コミュニティ財団や中間支援組織、フリースクールや子ども支援・子育て支援、まちづくり、国際協力分野のNPOなど、複数のNPOに役員として参画している。また、寄付アドバイザーとして、寄付先の選び方や寄付を募集している団体・活動と寄付者をつなぐウェブページへのコメント執筆やメディア等の取材対応なども行っている。その他、日本ファンドレイジング協会関西チャプター共同代表／認定講師、日本評価学会認定「評価士」。大学の非常勤講師として「NPO・NGO 論」「ボランティア論」「国際教育援助論・平和構築論」「SDGs 論」「脱炭素社会論」などを担当している。

